

第5次京都府食の安心・安全行動計画における数値目標（一覧）

資料1-1

第5次計画	5次	6次	具体的な取組	目標	実績	目標	実績	目標	実績	計画比	R3コロナ禍の影響と対応	オンライン等	主な担当課
				R1	R1	R2	R2	R3	R3				
1 新たな法制度に 適応できる食品 関連事業者等の 育成	(1) 安心・安全な食品を提供する事業者の育成	①	HACCP、食品表示推進検討会の設置・開催(回/年)	4	4	4	4	4	4	100%	多人数の会議はせず、小規模開催		農政課
		②	⑬ 業種別の食品関連事業者向けHACCP研修会の開催(回/年)	25	28	25	20	25	9	36%	感染症対策を講じ、可能な限り開催		生活衛生課
		③	⑬ 業種別の食品関連事業者向け食品表示講習会、相談会の開催(回/年)	20	26	20	11	20	19	95%	「食の府民大学(YouTube講座)(食品表示)」、ライブ配信等、オンラインを活用。その他、感染防止対策を徹底した上で開催	○	農政課、健康対策課、生活衛生課
		④	⑬ 食品関連事業者内の食品表示指導者設置による自社内自主チェックの仕組み作り(登録人数)	80	80	90	100	100	107	107%	対面形式を避けるため、オンライン開催	○	農政課
		⑤	⑬ 6次産業化に取り組む生産者向け食の安全マネジメント研修会の開催(回/年)	5	8	5	11	5	6	120%	感染防止策を徹底した上で実施	○	流通・ブランド戦略課
		⑥	⑬ 農業講習会の開催(回/年)	6	6	6	2	6	2	33%	農業講習会を通信講座に変更して実施	○	農産課
		⑦	⑬ 農業管理指導士の養成(登録人数)	850	850	875	871	900	903	100%	養成研修は、人数を制限した上で開催。更新研修は、通信講座に変更して実施	○	農産課
		⑧	⑬ 自主的な残留農薬分析(検体/年)	94	88	84	88	124	139	112%	感染防止策を徹底した上で実施		農産課
		⑨	⑬ 食品トレーサビリティに関する研修会の開催(回/年)	5	5	5	4	5	5	100%	農林水産省食品トレーサビリティ動画(YouTube)を活用	○	農政課
	(2) 持続可能な農業の推進と食料の安定供給	⑩	⑭ 環境にやさしい農業の取組(エコファーマーの認定件数)の拡大(件)	1,670	1,166	1,740	1,645	1,800	1,666	93%	感染防止策を徹底した上で実施		農産課
		⑪	⑭ 農業者向けGAP実践に係る研修会の開催(回/年)	10	10	10	10	10	9	90%	感染防止策を徹底した上で実施	○	農産課 畜産課
		⑫	⑭ 第三者認証GAP取得件数(件)	36	31	46	36	50	42	84%	感染防止策を徹底した上で実施		農産課
		⑬	⑭ 気象変動等にも対応した安心安全な府内産農林水産物の安定供給のための研究の実施(延べ件数)	5	6	6	6	7	7	100%	通常実施	○	流通・ブランド戦略課
	(3) 誰もが安心して食事ができる環境の整備	⑭	⑭ 食に携わるボランティア向けの食の安心・安全講習会の開催(回/年)	5	5	5	5	5	3	60%	感染防止対策を徹底した上で可能な限り開催	○	農政課、健康対策課、生活衛生課
		⑮	⑭ インバウンド等の食のおもてなし研修会の開催(回/年)	5	5	5	1	5	1	20%	オンライン開催とし、それに伴い開催回数を5回から1回に集約	○	農政課
		⑯	⑭ 食物アレルギーのある児童・生徒への個別取組プランの作成率の向上(%)	93	86	96	88	100	97	97%	京都府学校給食研究協議大会の開催に代えて資料配付	○	保健体育課
		⑰	⑭ きょうと 健康 おもてなし 食の健康づくり応援店(登録店舗数)	800	778	800	802	800	796	100%	新型コロナウイルス感染症の影響により飲食店の閉店に伴う応援店の減少が懸念されるので引き続き登録制度を周知		健康対策課
	(4) 緊急時の食の安心・安全確保のための対応力の向上	⑱	⑭ 緊急時の食に関する対応研修会の開催(回/年)	5	17	5	7	5	5	100%	感染防止対策を徹底した上で、可能な限り開催し、一部資料配布対応とした。また、家庭で学習できるよう動画講座を作成	○	農政課、健康対策課、生活衛生課
	(5) 生産現場等の監視、指導	⑲	⑰ ① 農薬使用者に対する使用指導(回/年)	200	234	200	268	200	235	118%	感染防止策を徹底した上で実施		農産課
		⑳	⑰ ② 全畜産農家に対する動物用医薬品等の適正使用指導率(%/年)	100	100	100	100	100	100	100%	巡回職員の検温、マスク着用、手指消毒など感染防止策を徹底し実施		畜産課
		㉑	⑰ ④ 全水産養殖業者に対する動物用医薬品等の適正使用指導率(%/年)	100	100	100	100	100	100	100%	巡回職員の検温、マスク着用、手指消毒など感染防止策を徹底し実施		水産課
	(5) 生産現場等の監視、指導	㉒	⑰ ⑥ 農薬販売店への巡回調査の実施(件/年)	250	250	250	152	250	203	81%	感染防止対策を徹底した上で実施		農産課
		㉓	⑰ ⑦ 肥料生産業者への立入調査(件/年)	10	10	10	9	10	10	100%	感染防止対策を徹底した上で実施		農産課
		㉔	⑰ ⑧ 飼料等製造業者、販売業者への立入調査(件/年)	13	13	13	13	13	13	100%	巡回職員の検温、マスク着用、手指消毒など感染防止策を徹底し実施		畜産課
	(6) 流通段階の監視、指導	㉕	⑰ ⑨ 食品表示における科学的検査の実施(検体/年)	40	39	40	40	40	40	100%	感染防止対策を徹底した上で実施		農政課
		㉖	⑰ ⑩ 食品表示巡回指導の実施(店舗数/年)	300	301	300	283	300	263	88%	巡回職員の検温、マスク着用、手指消毒など感染防止策を徹底し実施。緊急事態宣言期間は休止		農政課
		㉗	⑰ ⑪ 食品衛生監視機動班による食品営業施設の監視指導(件/年)	40	42	40	34	40	29	73%	一部中止、できる限り感染症対策を講じた上で実施		生活衛生課
		㉘	⑰ ⑫ 食品衛生法に基づく食品等の収去検査の実施(検体/年)	750	750	750	462	750	501	67%	一部中止、できる限り感染症対策を講じた上で実施		生活衛生課
		㉙	⑰ ⑬ 野生鳥獣肉を取り扱う食肉処理施設の監視指導率(%/年)	100	100	100	95	100	87	87%	感染防止策を徹底し実施。緊急事態宣言期間は休止		生活衛生課

第5次計画		5次	6次	具体的な取組	目標 R1	実績 R1	目標 R2	実績 R2	目標 R3	実績 R3	計画比 R3	R3コロナ禍の影響と対応	オン ライ ン等	主な担当課
2 食の信頼感向上に向けた情報の提供と 府民の食に関する選択力向上	(1)府民と食品関連事業者の 交流による相互理解の促進	⑩	⑳	きょうと食の安心・安全フォーラムの開催(回/年)	1	1	1	1	1	1	100%	現地会場とオンラインのハイブリッド開催を計画していたが、開催直前に府内全域がまん延防止等重点措置の発令に伴い、急遽オンラインのみの開催	○	農政課
		⑪	㉑	府民、食品関連事業者等との交流、意見交換(回/年)	5	4	5	1	5	3	60%	新型コロナウイルス感染症の影響により一部地域での開催を中止		農政課
		⑫	㉒	府の施策、取組に関する消費者団体との意見交換会の開催(回/年)	5	5	5	4	5	4	80%	オンライン開催とし、コロナ対応のため一部を中止	○	農政課
		⑬	㉓	食の安心・安全協働サポータースキルアップ研修会の開催(回/年)	5	6	5	1	5	5	100%	京都府が開催する各種研修会、イベント等を案内し、食の安心・安全に関する最新情報を提供する方式に変更	○	農政課
		⑭	㉔	学生等による食の安心・安全ヤングサポーターの養成(延人数)	30	24	60	56	100	130	130%	オンラインによる養成講座を実施	○	農政課
	(2)府民の食に関する学習環境 の充実	⑮	㉕	食の府民大学の講座の拡大(講座総数)	50	57	55	63	60	82	137%	ライブ配信・オンライン開催となったイベントを公開	○	農政課
		⑯	㉖	リスクコミュニケーションの開催(回/年)	20	19	20	5	20	11	55%	可能な限りオンライン等を活用して開催し、緊急事態宣言期間となった場合は一部中止	○	農政課
		⑰	㉗	府ホームページ等において、府の施策・取組を分かりやすく紹介(回/年)	12	12	12	12	12	12	100%	新型コロナウイルス感染症の影響によるイベントの開催方法の変更の周知など迅速な情報提供にも活用		農政課
		⑱	㉘	様々な媒体を活用した適切な食情報の発信(回/年)	24	24	24	24	24	24	100%	新型コロナウイルス感染症の影響によるイベントの開催方法の変更の周知など迅速な情報提供にも活用		農政課
	(3)京都ならではの食文化の 継承と食を大切にする意識 の向上	⑲	㉙	きょうと食いく先生による食文化伝承授業の実施(回/年)	30	41	40	40	50	50	100%	調理実習形式に限らず、講演や実演形式で実施		農政課
		⑳	㉚	食育実践優良事例の紹介、普及活動の実施(回/年)	6	7	8	8	10	10	100%	食育推進連絡協議会・交流会をオンライン開催	○	農政課、文教課、保健体育課
		㉑	㉛	食べ残しゼロ推進店舗(飲食店版)の認定拡大(店舗数)	200	69	300	74	380	120	32%	影響が大きい飲食店での取組が困難の中、保健所や業界団体と連携するなど工夫して実施		循環型社会推進課
		㉒	㉜	食べ残しゼロ推進店舗(食品小売店版)の認定(店舗数)	100	53	150	58	200	76	38%	対面での働きかけが困難になったことから、啓発方法を工夫して実施		循環型社会推進課
		㉓	㉝	食育宣言を行い、健全な食生活をおくる府民(延人数)	8,000	9,714	10,000	10,014	12,000	12,161	101%	対面型イベントの中止に伴い、宣言の募集を書面やオンラインに変更	○	農政課

目標達成率80%以上	33	77%
目標達成率80%未満	10	23%
計	43	100%